

2019年8月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	52,136,562	53,427,854	97.6%
国内旅行	7,709,852	8,009,247	96.3%
外国人旅行	3,501,780	3,729,948	93.9%
合 計	63,348,196	65,167,050	97.2%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ6社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、ミキ・ツーリスト）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。

1. 海外旅行

海外旅行は、方面別では、アジアで韓国・香港のマイナス影響がではじめた一方で、引き続きタイアップツアーなどに合わせ仕入れを強化したシンガポールが前年同月比 121%と好調だったほか、チャーター便が奏功したグアムについても同 125%と増加するなど、過去最高だった前年にせまる結果となりました。商品別では、夏休みのファミリー需要の増加から企画旅行が同 110%、チャネル別では、引き続きオンラインが同 111%と好調に推移いたしました。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比 97.6%の 521 億 3,656 万円となりました。

< 海外旅行 方面別・商品別・チャネル別データ >

① 方面別

方 面	前年同月比
アジア	92.9%
オセアニア・南太平洋	109.8%
ハワイ・ミクロネシア	101.7%
欧州・中近東・アフリカ	109.5%
北米・中南米	96.8%

② 商品別

商 品	前年同月比
手配旅行	90.0%
企画旅行	110.3%

③ チャネル別

チャネル	前年同月比
店舗	94.7%
オンライン	111.7%

2. 国内旅行

国内旅行では、北海道にてチャーター便を展開した道東・道南が順調に推移したほか、沖縄においても、オプションツアー施策などもありピーク時期の取り込みは奏功しましたが、全体では厳しい結果となりました。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比 96.3%の 77 億 985 万円となりました。

3. 外国人旅行

外国人旅行では、欧米からの受客が大幅に増加したものの、東アジアからの受客において販売商品を戦略的に見直したことにより、外国人旅行の総取扱高は、同 93.9%の 35 億 178 万円となりました。

以上の結果、2019 年 8 月の旅行取扱高の総計は、前年同月比 97.2%の 633 億 4,819 万円となりました。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室：03-6388-0707

広報室：03-5908-2346